

Mさん 男性 71歳 （8支部）

妻は2年前からVSに参加して海産物販売などで活動していました。私は家でぶらぶらしていましたが、妻に「あなたもやったら、楽しいから」と重ねて勧められ、半信半疑で入会しました。

今はすっかりはまってしまい、柏の葉キャンパス地区のアクアテラスの鍵作業、西口のパラソル14本の開閉作業、年3回の雑草取りに加え、ビレジ緑道の清掃・除草、年2回のワイワイフェスタのお手伝い等々に広がっています。これ程天気が気になるのは人生で初めてです。VSの皆様と楽しく有意義な71才の充実した生活が送れることに感謝して、毎日過ごしています。



第3・4緑道の清掃・除草作業



西口パラソルの開傘作業



ららポット倶楽部の作業

三陸大槌町の小豆嶋漁業を訪ねて：海産物販売

9月末、三陸・浄土が浜まで往復1,300キロの旅の途中、岩手県大槌町の「小豆嶋漁業（株）」（海産物仕入れ先）を訪ねました。常磐高速で福島県に入ると、もう忘れかけていた「放射線〇〇シーベルト」の標識が目飛び込んで来ます。

三陸海岸一帯は6年半前の大地震、大津波の傷跡も生々しく、小山のような巨大堤防や道路など復興建設の真最中で、目の前に見える小豆嶋漁業の本社・工場へ行くにも、道路工事でなかなか辿りつけぬ状況でした。

小豆嶋漁業は昭和54年創業。大震災で壊滅的な被害を受け、廃業も視野の苦悩の末、一念発起して新社屋を完成させ、冷凍保管機能を備えた加工工場も増設して、懸命な努力を続けておられます。-20℃の巨大冷凍倉庫、海産物加工のための数々の最新設備など、将来の発展に向けた強い意気込みを感じさせます。

Uさん 女性 42歳 VS賛助会員（柏の葉キャンパス在住）

柏の葉キャンパス駅前を彩る草花への水やりを始めて1年半。街の多くの人々が草花を通して四季の変化を楽しみ、街の心地良さを感じてほしいと願い、日々作業をしています。ららポット倶楽部（水やりチームの愛称）の活動はコミュニティづくりにもつながっています。マンション生活では、地域住民同士のつながりが希薄、でも私達の活動は顔が見える関係、近隣で挨拶を交わす場面が増えて、とても嬉しいです。

シニアの方々は、健康維持の一助にもなり心も体もスッキリ、外出の機会が増えた等の声が聞かれています。私は、育児の悩みなどをシニアの方に気軽に相談するなど心の支えになっています。

地域住民の力を合わせて「街の心地よさ」と「地域コミュニティづくり」を継続できるよう、倶楽部一同頑張ります。

社長夫妻が未だ仮設住宅住まいと聞き、思わず涙がこぼれそうになりました。報道のように、秋刀魚やイカの漁獲量が減少し、秋鮭の漁獲にも心配があり、取り巻く環境は厳しく、大震災からの完全復興、将来への発展は未だ途半ばです。

私たちが始めた海産物販売事業が、少しでも復興の支援に繋がれば、柏ビレジ商店街の賑わいのお役に立てればと願っています。

海産物販売担当 萩原辰雄



小豆嶋漁業（株）本社・加工工場と社員の皆さん

VSのホームページ、役に立つ最新情報を満載、ぜひご利用ください！

URL: <http://villagesupport.jp>

スマホでURLを読み込めます。お気に入りに登録してください →



8月にリニューアルしたVSホームページは、サーバー管理データによれば1日平均15件のアクセスがあり、利用者が着実に増えています。

皆様のお役に立つフレッシュな情報を随時掲載しますので、ぜひご利用ください。

■ ビレジサポート サービス協力者募集中！ お問い合わせは IVY-LABO 店頭受付（TEL:04-7106-5117）まで

ビレジサポート

広報第30号



発行日 2017年11月18日
発行 NPO法人
ビレジサポート

おかげ様でビレジサポートは活動5周年を迎えます



5周年を迎えて

理事長 林 忠男

振り返るにはまだ早い気はしますが、5年の節目ということで、来し方を振り返りつつ、将来に向けて一言ご挨拶申し上げます。

まず最初に、ゼロからスタートしたビレジサポート（VS）を支援・応援いただいた、自治会・東京大学・コプラック・三井不動産・東急・柏市など、数多くの関係団体に感謝申し上げます。特に、草創期に1年半ほど事務所を無償で提供して頂いたF様の支援は大きな支えとなりました。今も深く感謝しています。

生活助け合い・庭木剪定活動の分野で5年の実績の積み重ねは、なかなか重いものがあります。近隣の町会を見回してみても、これからゴミ捨ての手伝いに限って助け合いを立ち上げようとする団体などが多く、柏ビレジはすでにその先を歩き、柏ビレジの付加価値を高めるのに役立っていると自負しています。

5年の経験は、VSに技術の向上・ノウハウの習得・ネットワークの広がりなどをもたらし、ある程度の問題には自らで解決・対応できる体制が整いました。今後も住民の皆様が日頃困っておられる問題の解決をお手伝いしてまいります。

昨年より「はなみずき」と共同で始めた「通いの場」を通じて、住民みなさんの健康維持・介護予防のお手伝いができる場を提供しています。時々、コミュニティカフェ「はなみずき」でお茶を飲む、コミュニティサロンである「IVY-LABO」に来て、誰かと話をしたり、買い物をする、歌声喫茶で大声で歌う、体操教室で体を動かすなど、家に閉じこもらないで社会参加していることが、老人性うつ病・認知症予防、介護予防に役立ちます。

活動開始、5周年おめでとう！

柏ビレジ自治会 会長 竹田 徹

ビレジサポートの皆様、「互助の精神に基づき、コミュニティ・サービスを創出し豊かでふれあいのある街づくりに貢献」を目的として活動5年、本当にご苦労様です。その活動も、当初の「助け合い活動」「剪定サービス」から始まり、徐々にその活動範囲も拡大していき地域の皆様が集まる「IVY-LABO」の運営と幅広く、精力的な活動本当に頭が下がる思いです。

昨年より「コミュニティルームはなみずき」との協力で「通いの場」としてのいろいろなアイデアの立案・実行、その継続は大変であるとは思いますが、住民の皆様が楽しく集える場としての活動、今後とも宜しくお願いします。

自治会では、「若い世代も含め誰もが住んでみたいと思い、住んでいる人達が住み続けたいと思う街づくり」を標榜しておりますが、思いは同じであると思いますので、どうぞこれからもビレジサポートの皆様方の活動を発展させていっていただければ幸いに存じます。

もう少し元気な方は、事務所の受付を担当して、友達とお話する、時には公園の草取りに参加するなど、生活にアクセントがで、生きがいも生まれます。

今後ますます高齢化が進む一方、若い人も増えつつあるこの柏ビレジで、VSを含めた住民活動が街の活性化に大きく寄与すると確信しています。住民のみなさんの参加をお待ちしています。

IVY-LABO、ビレジサポートご利用のお問い合わせは、IVY-LABO（TEL / FAX：04-7106-5117）まで

Community Space IVY-LABO
柏ビレジ商店街
OPEN 月・火・水・金・土 11:00 ~ 16:00